

実施計画事業名		交通安全対策推進事業		評価対象年度	平成 23 年度			
評価担当部署		生活福祉部市民生活課		課長(主幹)名	工藤 紳吉			
総合計画体系	分野	3	環境・生活					
	政策	1	安心して暮らせるまちづくり					
	施策	2	交通安全対策を推進します					
	関連施策							
現状と課題	交通事故発生件数は、年々減少傾向にあるが自動車運転免許の保有率の増加やマイカー保有率の増加及び冬期間における路面状況の悪化などに伴い、交通事故を引き起こす要因は常に身の周りにある。死亡事故ゼロを目指すためにも、交通安全対策の推進にあたっては、街頭啓発をはじめ各年代に応じた事故防止対策が必要であり、特に子ども、高齢者などへの交通安全教育や冬期間の交通安全の確保にも配慮する必要がある。(※平成20年4月施行 稚内市防犯及び交通に関する条例制定)							
目的	交通安全意識の高揚を図り、交通事故の根絶と死亡事故ゼロを目指し、安全で安心に暮らせること							
5ヶ年展開の施策	<p>○稚内市交通安全推進委員会への補助金</p> <p>○一般交通安全指導員に出勤要請し、交通安全運動における街頭指導・啓発、各種行事における交通指導等、学校交通安全指導員は登下校時の交通指導や交通安全運動における街頭啓発や交通安全指導その他交通安全運動の推進に務め、交通事故防止に寄与する。</p> <p>○対象者に応じた交通安全教育を推進し、交通安全意識の高揚を図るとともに、関係機関・団体との連携を強化し、市民ぐるみの交通安全運動などを展開し、交通事故の根絶をめざす。</p>							
成果指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	交通事故発生件数【死者数】		人	目標	68【2】	↓【0】	↓【0】	
説明	稚内市内での年間交通事故発生件数【死者数】			実績	68【2】	52【1】		
活動指標	名称		単位		22年度	23年度	25年度	
	交通安全運動の啓発事業回数		回	目標	60	80	80	
	説明	春夏秋冬の交通安全運動等の啓発事業回数			実績	60	81	
	青空教室及び講習会実施回数		回	目標	16	15	15	
	説明	小学校等の青空教室をはじめとする交通安全教育実施回数			実績	16	24	
	交通安全指導員出勤人数		人	目標	405	475	475	
	説明	交通安全運動期間及び各種催事等の交通指導員出勤人数			実績	405	439	
				目標	-	-	-	
説明				実績				
事業費の実績		単位	22年度 (決算)	23年度 (評価年度決算見込)	24年度 (予算)	備考		
	直接事業費(A)		千円	11,004	13,174	12,243		
	国庫支出金		千円	0	0	0		
	道支出金		千円	0	0	0		
	起債		千円	0	0	0		
	その他		千円	0	0	0		
	一般財源		千円	11,004	13,174	12,243		
	この事業にかかる職員数		人/年	1.01	0.86	0.86		
人件費(B)		千円	6,859	5,980	5,980			
計(A+B)		千円	17,863	19,154	18,223			
状況変化	実施計画当初(平成21年～)からの状況変化							

【1次評価】

成 果	成果指標の単年度の目標値は達成できたか(単年度の目標値がない場合は、長期的な目標値を達成できそうか予測)
	c a 目標達成 b ほぼ目標どおり c 目標達成できず(目標値と大きな差がある) <cの場合は、なぜかを分析して記入する> 交通安全の推進に関わる行政機関や関係団体等との連携・協力を強固に実施し、交通事故発生件数の減少並びに交通死亡事故ゼロを目標に運動を展開してきた結果、事故発生件数も前年より減少し、交通死亡事故ゼロ300日(平成23年9月)を達成した。その後記録を更新するべく運動に取り組んできたが、平成23年10月末に道路を横断中の歩行者(女性)と乗用車が衝突する事故により死亡事故が発生し、死亡事故ゼロは326日で途絶える残念な結果となった。
細 事 業 の 構 成 ・ 進 め 方	細事業の改廃や新規細事業の必要性はないか
	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
各細事業の進め方について、市民との協働、他団体等との役割分担の見直し、環境への配慮など、改善の必要性はないか	a a 問題なし b 検討の余地がある c 早急な改善が必要 <bまたはcの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
	無駄なコストが発生していないか、投入した予算や人員に見合った効果が得られているか
コスト効率	a a 問題なし b 改善の余地がある <bの場合は、具体的な細事業名などを挙げ、問題点を記入する>
総合評価	B 見直しの検討が必要 <A~C判定を受けての今後の方針、問題点に対する改善策などを記入する> 交通事故発生件数の減少並びに交通死亡事故ゼロを目指して、成果指標(目標設定)を定め交通安全対策推進事業を実施しているが、自助努力だけでは成果が上がらない要素を含んでいる。

【2次評価】

成 果	c	細事業の構成	a	細事業の進め方	a	コスト効率	a
総合評価	B 見直しの検討が必要 <2次評価者の視点からコメントを記入する> エゾシカに起因する事故に対する注意喚起を行うとともに、必要に応じて活動指標にも加える。						

【内部評価委員会】

意見	
----	--